

高津小のめざす授業（授業における子どもの姿）
 子ども一人一人の学びを保障する授業

- もっと学びたいと思う子ども
- 自分の考えも他者の考えも大切にしている子ども

具体的な計画(取組)

算数では…

深める
 ○課題を解決し、新たな疑問や課題を見つける。

○学んだことを言語化させる（働かせた見方・考え方、統合・発展的な振り返り）
 ○ジャンプ課題

伝え合う（自他の違いを認める）
 ○考えを広げたり、整理したりする。

○ペア・グループ学習を設定する
 ○多様な考えを予想する
 ○新しい気づきを追記させる

一人一人が考えをもつ
 ○同じ土俵にのる

○課題や問いを明確にする
 ○自分の考えたことを表現する

○学んだことを言語化させる（働かせた見方・考え方、統合・発展的な振り返り）
 ・単元を通しての見方・考え方
 ・分かったこと、分からなかった両方の側面から

○ジャンプ課題→学んだことを応用して問題解決する課題
 ・子ども一人一人の理解度が分かる。
 ・早く解きたいと思う問題選び

○ペア・グループ学習を設定する
 ・形態の工夫
 先生と子ども 先生を介して友だちと 友だち同士
 ・考えが途中のものを取り上げて一緒に考える。
 ・説明した子どもに対して、周りの子が質問する方法を学ぶ。
 ・聞いている子どもが、同じことを説明してみる。

○多様な考えを予想する
 ・それぞれの考えのよさを教員がいかに関心づけるか
 ・苦手な子がどう考えるのか予想しておく。

○新しい気づきを追記させる
 ・自分の考えとは違うところ、考えが変わったところを赤で追記する。

○課題や問いを明確にする
 ・思考対象を絞る
 ・自分たちの考えを狭める

例) 1年 くり下がりのあるひき算
 「けいさんのしかたをかんがえよう」
 ↓
 「10のまとまりをいつどうしたかせつめいしよう」

○自分の考えたことを表現する→低学年のうちからしっかり取り組む
 →問題の中の分からない用語をまずなくす

- ・書きにくい場合は、ペアで話す
- ・ノートに書く（図、言葉、式、表、グラフなど）→分かりかけや誤答でよい
- ・算数のことばを提示する。